

# 出穂期は平年より3~4日早まる見込みです

令和4(2022)年7月28日

那須農業振興事務所

## 【水稻生育診断ほ調査(7/20)結果と今後の管理】

- ・ 出穂期は、平年より3~4日早まる見込み(南部:7月28日、北部:8月2日)。
- ・ 今後の水管理は、間断かん水が基本です。

### ○予想される出穂期(品種:コシヒカリ)

地域	幼穂長 (7月20日時点)	予想される 出穂期	出穂期の 平年値
管内南部 (那須塩原市一区町)	15.5 cm	7/28 頃	7/31
管内北部 (那須町寺子丙)	4.7 cm	8/2 頃	8/6

### <出穂前日数と幼穂長の関係>

出穂前日数	25 日前	23 日前	20 日前	18 日前	15 日前	12 日前	10 日前
幼穂長 (cm)	0.1	0.2	0.5	1.0	2.0	8.0	12.5

### ○今後の水管理

- ・ 現在の生育ステージは穂ばらみ期~出穂期であり、間断かん水が基本となります。出穂期~開花期は、最も水を必要とする時期であることから、こまめな間断かん水を行い、水が不足しないようにしましょう。
- ・ 出穂期~登熟期に高温になると、白未熟粒や胴割粒の発生が多くなります。夕方以降のかん水により地温を低下させ、高温障害の発生を防ぎましょう。
- ・ 急激な湿度低下には、白未熟粒や胴割粒の発生原因となります。台風通過後の乾燥した強風(フェーン)が予想される場合は、できるだけ深水で管理しましょう。

### ○現在の生育(7月20日 水稻生育診断ほ調査結果) 品種:コシヒカリ

調査地点	草丈 (cm)		茎数 (本/m <sup>2</sup> )		葉色		生育診断値		葉齢		幼穂長 (mm)	
	本年	平年比 (%)	本年	平年比 (%)	本年	平年差	本年	平年比 (%)	本年	平年差	本年	平年差
管内南部	89.8	103	396	91	3.1	-0.5	1,214	77	13.8	+0.9	155	+54
管内北部	77.5	98	343	72	2.7	-0.8	911	56	12.0	-0.1	47	+36

注1:南部:那須塩原市一区町(田植え5/1)、北部:那須町寺子丙(田植え5/10)

注2:北部は、前年より施肥法を変更したため、平年比・平年差は参考値

注3:施肥方法は、いずれの地点も全量基肥

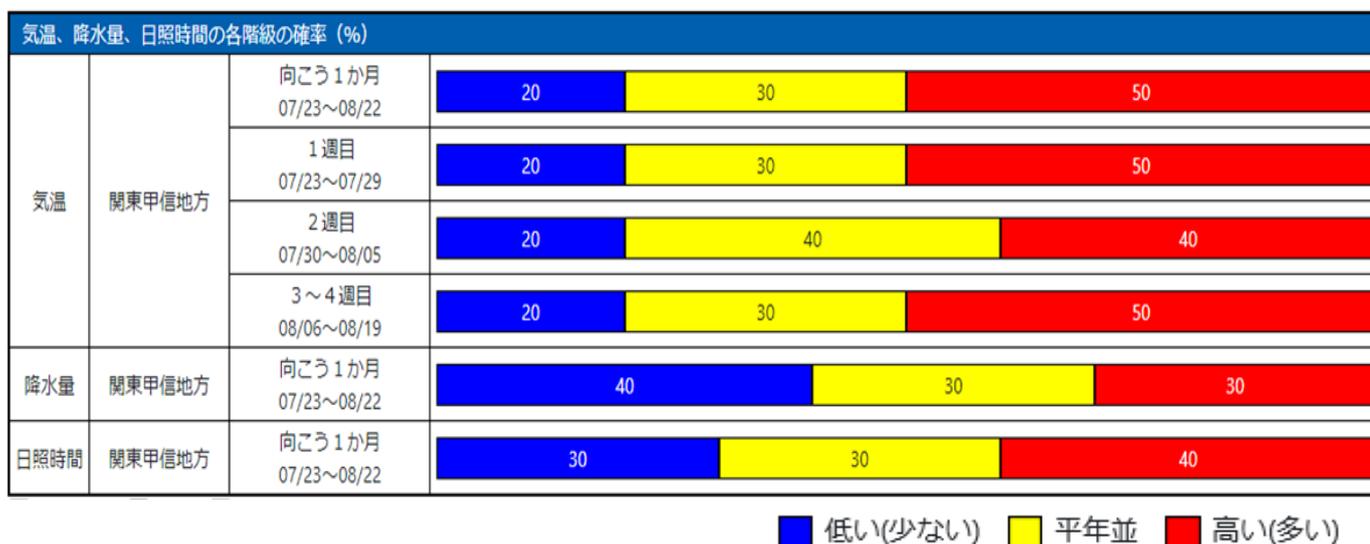
- 管内南部、北部ともに、平年に比べて茎数が少なく、葉色が淡い

【参考】田植え後の気候

アメダス 地点	期間	平均気温(°C)			降水量(mm)			日照時間(h)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年比 (%)	本年	平年	平年比 (%)
大田原 (南部)	6月	21.1	20.0	+1.1	156	172	90	138	130	107
	7月上旬	25.8	22.5	+3.3	4	90	4	73	38	190
	7月中旬	24.2	23.4	+0.8	78	77.5	101	29.5	51.4	57
黒磯 (北部)	6月	19.9	19.1	+0.8	98	175	56	126	122	103
	7月上旬	25.0	21.8	+3.2	7	83	8	77	51	151
	7月中旬	22.9	22.7	+0.2	124	85.7	145	27.1	35.2	77

- 6月：大田原、黒磯ともに、気温は平年より高く、黒磯の降水量は少なく推移
- 7月上旬：大田原、黒磯ともに、気温は平年よりかなり高く、降水量はかなり少なく、多照に推移
- 7月中旬：大田原、黒磯ともに、気温は平年より高く、日照時間は少なく推移

【参考】「関東甲信地方 1か月予報」(7/21 気象庁発表)



- 平年と同様に晴れの日が多く、平均気温は高い確率 50%



7月~8月は「農作業中の熱中症による死亡事故」が集中します。  
熱中症対策の第一歩！ 日中の気温の高い時間帯の作業は控えましょう。